

# 平成28年度 第4回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成 28 年 11 月 21 日（月）19 時より、東松島市役所 202 会議室において、市民委員 17 名およびアドバイザー企業 5 社が出席し、平成 28 年度第 4 回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】  
意見交換  
～復興まちづくり計画について～



## ■意見交換 ～復興まちづくり計画について～

平成 23 年度に策定された「東松島市復興まちづくり計画」に基づく取組の進捗状況や課題、今後の進め方等について、市の担当職員を交え、委員がポスターセッション形式で意見交換を行いました。「防災・減災」「住まい・暮らし」「産業」の各テーマについて、これまでに実施した事業の進捗度・市民の理解度・効果や、これから実施する事業への意見・アイデア等について、市民からの目線で意見を出し合いました。

◇東松島市復興まちづくり計画について（一部意見を要略）

- ・防潮堤、嵩上げ道路、河川・運河の堤防など、命を守るためのハード整備は、着々と進捗している。また、防災集団移転事業や災害公営住宅整備も、市民の意向を反映しながら着実に進められている。今後は、新しいコミュニティでの自主防災活動等の充実や被災者の心のケアなどのソフト面が課題。
- ・災害用マンホールトイレが指定避難所に設置され安心であるが、使用方法や設置場所を知らない市民が多いので、防災訓練等で実際に設置してみるなどして理解を深めることが必要である。
- ・「森の学校」は市外からも注目されている。東松島市へ移住したいと思わせるよう、広報に力を入れてほしい。
- ・農地の再生や産業用地への企業誘致などが進む一方、本市へ人を呼び込むための観光ルート開発や PR はまだまだである。地場産品の 6 次産業化や異業種連携を進め、新たなブランド品の開発や雇用確保を図ることも重要である。

※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。

